

2013年

携帯サイトへGo!→  
携帯で教室便りが見られます



## 教室だより 6月号

### 毎日の学習タイムを決める

6月21日頃は二十四節気の一つ「夏至（げし）」です。一年のうちで最も昼の時間が長い日です。日が長く、外で遊ぶ時間が長くなる時期、公文式を学習する時間を決めてみることは、学習を習慣化する有効な手段です。「〇時から学習する」と決めるのもいいですし、「夕食前に終わらせる」など、ある行動とセットにするのもいいでしょう。学習する場所も決まっているという生徒もいます。お母さんの姿が見えると落ち着くのでしょうか、夕食の支度をしている横で、ダイニングテーブルで毎日学習しているという話を聞いたことがあります。また、子どもが学習する横で親は読書をする決め、子どもと一緒に学習タイムを守るという話も聞きました。毎日決まった時間に学習をする。この習慣が身につくまではなかなか大変ですが、このことは学習が習慣化することにとどまらず、将来「自分で決めたことは、しっかりとやり抜く」「やればできる」という、大きな力につながっていくのです。

## 公文式の創始者・公文 公（くもん とおる）先生の言葉より

### 国語力はすべての能力の基礎

英語の単語力のない子どもは、英語の学習が進みにくいようですが、同様に日本語の語彙の少ない子どもは、国語に限らず、すべての学習が進みにくいようです。いうまでもなく、人間はことばを使って考えます。ですからどれだけ多くの語彙をもっているかが、その人の思考力を決定し、精神的、知的レベルを決定するといえるでしょう。本を読むことで、新しいことばを知ると同時にさまざまな知識が増え、情報をたくさん得ることができます。そして、ほかの人からいちいち教えてもらわなくても、自分が知りたいこと、学びたいことを自分自身で知り、学んでいくことができるのです。

幼児期からたくさん読書をしていたという人は、社会にでてからも自分で本を読んで学び、しかも文章を読み取ることが非常に速いのです。そのうえ、そういう人たちは決断が速く、判断も正確な場合が多いようです。

こう見ますと、国語力、読書能力は、すべての能力の基礎になるのです。

## 2013年 6月の学習日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

本市場教室日□ 横割教室日△

今月のことわざ

が でん いん すい  
我 田 引 水

自分だけ都合のいいようなことを言ったり  
ふるまったりすること。

◆もとの意味は「自分の田んぼにだけ水をひく」こと。

「お兄ちゃんもお姉ちゃんも我田引水なことばかり言って  
家族旅行のいき先がきまらない。」

「わがままな」とはいつも我田引水だ。」

くもん出版刊「四字熟語カード」より

公文式本市場教室 火・木 3~7時 TEL 186-61-4936 (上平方)

横割教室 月・水 3~7時 TEL 61-8891 (福島方)

指導者: 新妻ゆき子 携帯090-2260-0671

Eメール:yvonne-yukiko@mbi.nifty.com

携帯アドレス:yvonne-1682-yukiko@docomo.ne.jp

ゆきこくもん

検索

ホームページ <http://www.yukiko-kumon.com>

## 公文をもっとわかってください(27)

### 【第27回】公文式学習法

#### 1. 自分にピッタリの教材で学習できる

公文式では、小さなお子さまでも学べる内容から大学相当の内容まで、幅広く教材を用意しています。どこからスタートするか、どんなふうに進むかは、一人ひとりに合わせて決めていきます。だから、その日・その時の子供の状態にピッタリの内容と量の教材で、楽しく学習することができるのです。

#### 2. 自分でドンドン学んでいける

公文式教材は、難易度が少しずつ上がっていけるように、十分に検討して問題の配列を決めています。また、初めての課題でも自分の力で取り組めるよう、例題を用います。だから、「こう解けばいいのかな?」「あっ、そうか!」と試行錯誤しながら自分でドンドン学んでいけるのです。

#### 3. 学年に関係なくグングン進める

学習内容を絞り込み、教材のつながりを考えて系統的に構成している公文式教材なら、学校で学んでいる内容より先へ、グングン進むことができます。自分の学年を超えた内容を学習することで、学校の勉強に余裕ができ、スポーツや音楽などさまざまな分野にも力を注ぐことができます。

### ◎社会で活躍できる力を養う、それが、公文式教材

公文式は「自分で学ぶ」、つまり「自学自習」の姿勢を養うことを大切にしています。それは、子供たちが社会に出た時に必要とされるのは、初めての物事に会っても、自分で主体的に取り組んでいく自学自習の力だと考えているからです。この力を身につけることができるのが、公文式教材なのです。

### ◎公文式教材 3つの特徴

公文式には、物事を考える土台となり、さまざまな分野に通じる「算数・数学」、「英語」、「国語」の教材があります。そして高校相当の内容に自学自習で進めるよう、公文式教材は主に次の3つの特徴を備えています。

- 1、学習内容を厳選・・・「あれもこれも」と多くを盛り込まず、「高校相当の内容を学ぶときに必要なものに絞り込む」という発想で、内容を厳選しています。
- 2、下降方式で系統的に構成・・・「自学自習で高校相当の内容を学ぶために、その前の教材で養うべき力は?」という下降方式の視点で構成されています。この特長により、前に学んだことを次の課題で活かす系統的な学習ができ、習熟度が効率的に高まります。
- 3、きめ細かなスモールステップ・・・学習内容や問題配列、練習量、例題の示し方などを工夫し、きめ細かなスモールステップで作られています。だから、未知の内容に進んでも自分の力で問題の意味や解き方を考える経験が積み、自学自習の力が高まります。

### \*ゆき子の一言コラム

途中でやめるくらいなら最初からやらない方がまし。

なぜ公文を選んだか、そのところを思い出して欲しい。5年生になってようやく算数E教材に進み 英語も新たに始めてさあ、これからって時に「野球と〇英塾と公文書写と学習公文と全部やっていると1週間のうち休める曜日が無い。」そんな事、始めからわかっていたはず。5年生になっていろいろやってみたくなくて片っ端から手を出して結局どれも続かなかった、ということにならないで欲しい。最低でも小学校6年生までは続けて、最低でも中学教材の少しでもかじっておかないと中学に入ってから、すぐに困ることは目に見えている。何年も前、小5でE教材でやめて中学3年になってから、他塾が合わなくて戻ってきた子は診断テストの結果、E教材までは完璧にできていた。中学教材はめっちゃめっちゃだった。中学校で他塾で勉強していたにもかかわらず。結局大急ぎでE・F・G・H・I教材を進めて 何とか公立高校の入試をクリアした。せめて小6の終わりまで学習を続けていれば最低でもG教材までは進んでいたはずなのに、ほんとにもったいない話です。

### その他連絡

お休みのときは電話でもメールでも結構ですので連絡をお願いします。

6月分の会計引き落としは5月28日(火)です。よろしく願いいたします。

(注)休会・退会の場合は、引き落としの関係から15日までにお申し出下さい。